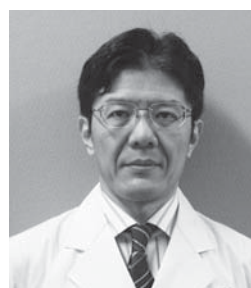


脳神経外科



副院長
塚原 徹也

専門医資格等
日本脳神経外科学会
専門医
日本脳卒中学会 専門医
専門分野
脳神経外科
得意疾患
脳血管障害



診療科長
福田 俊一

専門医資格等
日本脳神経外科学会
専門医
日本脳卒中学会 専門医
専門分野
脳神経外科
得意疾患
脳動脈瘤
良性脳腫瘍
頭蓋底手術
バイパス術

□ スタッフ

平成25年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 長	青木 友和	日本脳神経外科学会 専門医 日本脳卒中学会 専門医 日本癌治療学会 暫定教育医	脳神経外科	悪性脳腫瘍、顔面痙攣、三叉神経痛
医 師	川端 康弘	日本脳神経外科学会 専門医 日本脳卒中学会 専門医 脳神経血管内治療学会 専門医	脳神経外科	脳血管障害、脳血管内治療、脳腫瘍
医 師	河原崎 知	日本脳神経外科学会 専門医	脳神経外科	

□ 診療科の特徴

施設認定等 日本脳神経外科学会研修施設

1. 当科は、脳卒中や頭部外傷などの脳神経外科領域の救急疾患に24時間対応し、地域救急医療に貢献していると同時に、困難な脳神経系疾患に対して集約的な治療も行っています。
2. 脳卒中、脳腫瘍、頭部外傷、脊髄疾患など脳神経外科領域全般にわたって、患者さんの入院および外来加療を行っています。
3. 脳神経外科領域の疾患では、緊急に手術等の処置を行わなければ生命にかかわる場合もあれば、逆に病気はあるものの、定期的に外来で経過を観て行くことが適当である場合もあります。
4. 上記3のような場合を除けば、手術をすべきかどうかは、その疾患自体だけではなく、症状や年齢、全身状態、手術の難易度、さらには患者さんの性格や家族構成などを考慮して決めるべきであり、たとえ同じ疾患でも個々の患者さんによって方針が異なってきます。
5. 私たちは、患者さんご自身やご家族に十分に病気についての説明をし、相談をした上で、インフォームドコンセントをとり、その上で適切な治療方針をとることが大切であると考えています。
6. いったん手術が必要であると決まった場合には、たとえ難易度の高い手術でも、従来の顕微鏡を用いた開頭手術に加え、血管内手術や神経内視鏡手術などの様々な手術法を用い、積極的に治療を行っています。

□ 主な対象疾患

- ・脳血管障害(脳梗塞・クモ膜下出血・未破裂脳動脈瘤・脳内出血・その他の脳血管障害)
- ・脳腫瘍(グリオーマ・下垂体腺腫・頭蓋底腫瘍・聴神経腫瘍・転移性脳腫瘍・脳内リンパ腫・胚細胞腫・髄膜腫・頭蓋咽頭腫)
- ・神経内視鏡手術
- ・頭部外傷
- ・機能的脳神経外科(顔面けいれん・三叉神経痛)

□ 診療(業務)内容

- ・脳血管障害(脳梗塞に対する血行再建術・破裂および未破裂脳動脈瘤に対するクリッピング術・脳内出血に対する開頭摘出術、内視鏡手術)
- ・脳神経血管内治療(脳動脈瘤塞栓、ステント設置、腫瘍塞栓、脳動静脈奇形塞栓など)
- ・脳腫瘍(グリオーマ・下垂体腺腫・頭蓋底腫瘍・聴神経腫瘍・転移性脳腫瘍・脳内リンパ腫・胚細胞腫・髄膜腫・頭蓋咽頭腫)に対する摘出術
- ・神経内視鏡手術(下垂体腫瘍、脳室内腫瘍、水頭症、脳内出血など)
- ・頭部外傷(血腫除去術)
- ・脊椎背髄疾患
- ・機能的脳神経外科(顔面けいれん・三叉神経痛に対する神経減圧術)
- ・頭蓋底および頸部腫瘍:腫瘍摘出および血行再建術

□ 診療実績(平成25年度)

入院患者数

	1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
2013年度	20.3名	368名	18.8名

外来患者数

	1日平均患者数
2013年度	36名

主な手術・検査の件数など

	脳動脈瘤	脳腫瘍	脳血管内手術	脳動静脈奇形	頸動脈内膜剥離術	血管バイパス術
2013年度	22件	40件	69件	1件	17件	14件

□ 地域医療連携・広報活動

第11回脳卒中市民講座 2013年12月14日 於;京都第二赤十字病院

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

区分	演者・演題・学会名
国際学会	S.Fukuda, Y. Shimogonya, T. Tsukahara, Y. Imoto, S. Morikawa and M. Fukuda; The influence of inlet boundary conditions upon hemodynamic analysis of human cerebral aneurysms with computational fluid dynamics technique. Experimental Biology 2013 April 20-24, 2013 Boston, America
国際学会	Yasuhiro Kawabata, Kohsuke Yamashita, Hidenori Miyake, Tetsuya Tsukahara, Shunichi Fukuda, Tomokazu Aoki, Satoru Kawarazaki; Analysis of the relationship between perioperative stroke and embolus protection devices during aortic artery stenting XV WFNS 2013 World Congress of Neurology 8-13 September, 2013 Seoul, Korea
国際学会	T. Tsukahara, T. Hatano; ANGIOPLASTY AND STENTING FOR INTRACRANIAL ARTERIAL STENOSIS World Congress of Neurology September 21-26 2013, Vienna, Austria
国際学会	T. Aoki A multicenter phase I/II study of the BCNU implant (Gliadel® wafer) for Japanese patients with malignant gliomas (long-term follow up (NPC-08 Study)) 4th Quadrennial Meeting of the World Federation of Neuro-Oncology November 21-24, 2013 San Francisco, California
国際学会	Shunichi Fukuda, Yuji Shimogonya, Tetsuya Tsukahara, Yasuhide Imoto, Miyuki Fukuda; Computational Fluid Dynamics Analysis In Roles Of Hemodynamic Factors On The Development Of Cerebral Aneurysms. International Stroke Conference 2014 February 12 2014, San Diego, California
国内学会	川端康弘;急速に増大する頭皮下腫瘍として発症した平滑筋肉腫の一例 第31回日本脳腫瘍病理学会 2013年5月25日、東京
国内学会	青木友和;グリオーマ手術の意義についての私見 第18回日本脳腫瘍の外科学会 2013年9月19日~20日、滋賀

国内学会	福田俊一、下権谷祐児、塚原徹也、青木友和、川端康弘、河原崎知、福田美雪、井本恭秀;数値流体力学(CFD)解析を用いた脳動脈瘤形成における血行力学的因子の役割の検討 日本脳神経外科学会第72回学術総会 2013年10月16日~18日、横浜
国内学会	青木友和、荒川芳輝、上羽哲也、北条雅人、岩崎孝一、杉山一彦、宮本享;再発悪性神経膠腫に対するTemozolomideとACNUの併用化学療法(TA療法)の臨床第I/II相試験(中間報告) 日本脳神経外科学会第72回学術総会 2013年10月16日~18日、横浜
国内学会	川端康弘、河原崎知、福田俊一、青木友和、塚原徹也;内頸動脈一後交通動脈分岐部動脈瘤に対するコイル塞栓術 日本脳神経外科学会第72回学術総会 2013年10月16日~18日、横浜
国内学会	川端康弘;頸動脈再狭窄病変に対する再治療 第29回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術総会 2013年11月22日、新潟
国内学会	青木友和;再発悪性神経膠腫に対するTemozolomideとACNUの併用化学療法の第I/II相試験 第31回日本脳腫瘍学会学術集会 2013年12月8日~10日、宮崎
国内学会	福田俊一、塚原徹也、青木友和、川端康弘、河原崎知、中村道三、大谷良、村瀬永子、端祐一郎、吉永健二;アテローム血栓性脳梗塞急性期・亜急性期におけるSTA-MCA bypass術の適応について 第39回日本脳卒中学会総会 STROKE2014 2014年3月14日 大阪
国内学会	福田美雪、福田俊一、安藤譲二、宮本享、塚原徹也、長谷川浩二;P2X4プリノセプター遺伝子欠損マウスを用いた脳動脈瘤発生段階における壁ずり応力の役割の検討 第39回日本脳卒中学会総会 STROKE2014 2014年3月14日 大阪
国内学会	金澤雅人、Yu-Huan Gu、長田高志、Brian Hawkins、福田俊一、中島元夫、西澤正豊、下畑享良、Gregory Del Zoppo;脳虚血早期のヘパラーゼによるヘパラン硫酸の脱糖鎖反応 第39回日本脳卒中学会総会 STROKE2014 2014年3月14日 大阪
国内学会	川端康弘、塚原徹也、大谷良、山下耕助、三宅英則、堀川文彦;経皮的頸動脈ステント留置術の周術期心筋梗塞 第39回日本脳卒中学会総会 STROKE2014 2014年3月15日 大阪
国内学会	波多野武人、永井靖識、宮腰明典、早瀬睦、織田雅、中村威彦、塚原徹也;症候性頭蓋内椎骨脳底動脈狭窄に対する血管内治療 第39回日本脳卒中学会総会 STROKE2014 2014年3月14日 大阪

□ 投稿論文など

著書・雑誌名	著者・タイトル
The FASEB Journal.2013	Shunichi Fukuda, Yuji Shimogonya, Tetsuya Tsukahara, Yasuhide Imoto, Susumu Morikawa and Miyuki Fukuda;The Influence of inlet boundary conditions upon hemodynamic analysis of human cerebral aneurysms with computational fluid dynamics technique. The FASEB Journal.2013;27:700.7
Neurol Med Chir	Aoki T, Nishikawa R, Sugiyama K, Nonoguchi N, Kawabata N, Mishima K, Adachi JI, Kurisu K, Yamasaki F, Tominaga T, Kumabe T, Ueki K, Higuchi F, Yamamoto T, Ishikawa E, Takeshima H, Yamashita S, Arita K, Hirano H, Yamada S, Matsutani M. A Multicenter Phase I/II Study of the BCNU Implant (Gliadel® Wafer) for Japanese Patients with Malignant Gliomas. Neurol Med Chir (Tokyo). 2013 Nov 29
Jpn J Cancer Chemother 40	青木友和、山田忍; Central Nervous System Tumor and Glioma 脳腫瘍、グリオーマII.悪性神経膠腫に対するBCNU脳内留置用剤(ギリアデル脳内留置用剤7.7mg)の現状と化学療法 Jpn J Cancer Chemother 40(6):708-717, June, 2013
Intern Med 53	Jumpei Togawa, Takekazu Ohi and Satoru Kawarazaki;Global Aphasia without Hemiparesis Caused by a Dural Arteriovenous Fistula.Intern Med 53:135-138,2014 Epub 2012 Mar 1.
今日の治療指針	塚原徹也;脳動脈解離 今日の治療指針 私はこう治療している TODAY'S THERAPY 2014:849-850 医学書院
Annual Review 神経2014	青木友和、山田忍;悪性神経膠腫に対する局所化学療法(Gliadel 7.7mg Implant) Annual Review 神経2014、p180-191
The Mainichi Medical Journal	塚原徹也;人口呼吸管理下ICU患者の自発的音楽聴取は不安を軽減する 解説 巧みな研究デザインで音楽の治療効果を解明 The Mainichi Medical Journal March 2014 Vol.10 No.1 20-21
Clinician 2014	青木友和、山田忍;ギリアデル脳内留置剤7.7mgの臨床試験Review Clinician 2014, No.624. p298-316 (2014年3月号)
脳神経外科速報 2014	青木友和;脳神経外科医が解説する抗VEGF抗体薬 脳神経外科速報 2014, Vol24, No.4, p437-443